

モンゴル国立医科大学大学院との ダブル・ディグリー・プログラム覚書を締結



<ポイント>

- 徳島大学大学院医学研究科とモンゴル国立医科大学大学院医学研究科との間で、ダブル・ディグリー・プログラムに関する覚書を締結しました。
- 本覚書は、徳島大学大学院医学研究科として初めてのダブル・ディグリー・プログラムの締結となります。
- 本プログラムを通じて、両大学の学生が双方の大学で研究活動を行い、所定の要件を満たすことで両大学から学位を取得することが可能となります。

<報道概要>

2026（令和 8）年 2 月 10 日、徳島大学大学院医学研究科は、モンゴル国立医科大学大学院医学研究科との間で、ダブル・ディグリー・プログラム（DDP）に関する覚書を締結しました。本覚書には徳島大学側から河村学長及び橋本大学院医学研究科長、モンゴル国立医科大学側から Damdindorj 学長及び Uurtuya 大学院医学研究科長が署名しました。本件は徳島大学大学院医学研究科として初めてのダブル・ディグリー・プログラムであり、両大学の学生が双方の大学で研究活動を行い、所定の要件を満たすことで両大学から学位を取得できる国際教育プログラムです。本覚書を通じて、両大学は高度医学研究人材の育成と国際共同研究の更なる発展を目指します。

2026（令和 8）年 2 月 10 日、徳島大学大学院医学研究科は、Mongolian National University of Medical Sciences（モンゴル国立医科大学）大学院医学研究科との間で、ダブル・ディグリー・プログラム（DDP）に係る覚書を締結しました。

本覚書には、徳島大学側から河村学長及び橋本大学院医学研究科長が署名し、モンゴル国立医科大学側からは Damdindorj 学長及び Uurtuya 大学院医学研究科長の署名がなされ、両大学間で正式に発効しました。

本件は、徳島大学大学院医学研究科として初となるダブル・ディグリー・プログラムに関する覚書の締結であり、両大学の教育・研究連携を一層深化させる重要な節目となります。本プログラムでは、両大学に入学した学生が徳島大学及びモンゴル国立医科大学の双方において研究活動を行い、所定の修了要件を満たすことで、修士号又は博士号を両大学から授与されることが可能となります。

徳島大学とモンゴル国立医科大学は、2005（平成 17）年に学部間学術交流協定を締結し、2007（平成 19）年には大学間学術交流協定を締結

するなど、長年にわたり教育・研究交流を進めてきました。現在では、徳島大学を代表機関として実施されている SATREPS（地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム）「モンゴルに蔓延する D 型肝炎ウイルス感染の制圧に向けた研究開発」においても両大学が連携して研究を推進しています。また、内閣官房が 2023（令和 5）年 4 月 27 日に公表した「未来を創造する若者の留学促進イニシアティブ（第二次提言）」^{*1}においても、ダブル・ディグリーなどの大学の国際化の拡充が提言されており、本取組はこうした政策の方向性にも合致するものです。

本覚書締結を通じて、両大学は国際的視野を持つ高度医学研究人材の育成を推進するとともに、医学研究及び生命科学研究における国際協力の更なる発展を目指します。

掲載写真は、本学の駒貴明研究教授が覚書文書を携えてモンゴル国立医科大学を訪問し、現地にて署名が完了した後に撮影されたものです。写真中央が Damdindorj 学長、右が Uurtuya 大学院医学研究科長です。



^{*1}内閣官房 教育未来創造会議 提言

<https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/kyouikumirai/teigen.html>

お問い合わせ先

大学院医歯薬学研究部医学域医科学部門微生物病原学分野
研究教授 駒 貴明

電話番号 088-633-9232

メールアドレス tkoma[アット]tokushima-u.ac.jp

※メールを送信される場合には、[アット]を@に置き換えてください。